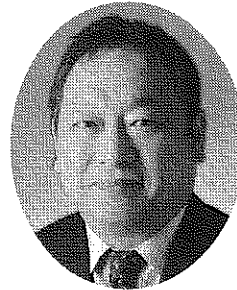




発行所
愛媛県立今治南高等学校
越南会
印刷所 (株)原田印刷社

越南会だより 第六号の発刊にあたり

越南会会長 山本 敏 明 (南31回卒)



越南会の皆様には、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃から母校並びに越南会の運営と活動に対しまして格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

コロナ状況が落ち着き、諸行事や活動が、本年度より徐々ににも戻りつつあります。そういった中、三月の卒業式は制約のあった三年を過ごした一七六名の卒業生が、自分の進む「十字星」に向けて大きく羽ばたき、新たに越南会の一員に加わりました。そして、四月には夢を持った活力ある、一八八名の新入生を迎える事が出来ました。

を大変楽しみにしています。

本校は、二年後の令和七年秋に創立百周年を迎えます。本年度から、学校・PTAの皆さんと期成会を立ち上げます。どのような百周年にするか相談し、諸行事を決めていきたいと思っております。我が母校が地域の中でどういう価値を持ち、どういう役割を担ってきたのか。原点に立ち返り、未来へと繋げていく時です。

そして、学校再編が進むなかで、南高の魅力をどう発信できるかが問われています。同窓生だけでなく、広く生徒の皆さんの意見も取り入れながら、よりよい百周年事業を行いたいと思うのです。

これからもなお一層、会員皆様、声を寄せていただくとともに、倍旧のご支援・ご協力をお願いいたします。また、この三年間で、生活様式・生活習慣が変化しています。会員皆様も、柔軟な対応をして頂き、お元気で過ごしていただきますようご祈念致しまして、発刊の挨拶とさせていただきます。

逞しく、団結力のある学校へ

校長 松野 勝利



越南会の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本校は、これまでに二万七千人を超える卒業生を輩出し、令和七年度には記念すべき百周年を迎える伝統校です。その伝統を受け継ぎ、地元今治市をはじめ、全国各地でご活躍する先輩方に続くことができるよう、校訓「鍛」のもと、南高生の育成に全力で取り組んで参ります。また、創立百周年記念事業の準備を今年度から進めたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

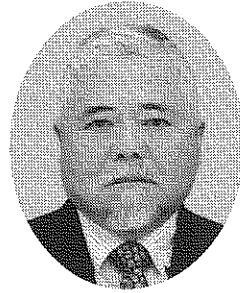
さて、令和五年三月に県教育委員会から、少子化に伴う生徒数の減少や情報化・グローバル化の進展に対応し、生徒にとってよりよい教育環境の実現を目指すため、「愛媛県立学校

振興計画」が公表されました。本校は学校の統合には該当していないものの、今後の中学生の進路状況などにもより、現在のところ令和七年度から一学級減になる予定です(今治市内で四学級減の予定)。今後は学校の魅力化が益々重要になることから、幅広い進路実科併設校として、幅広い進路実現をサポートする教育を推進するとともに、自らを鍛え、積極的に課題を解決するチャレンジ精神を培い、地域に貢献できる人材の育成に努める所存です。

最後に、私の想いということで、野球のWBCで優勝した日本チームをもとに、始業式で生徒に話したことを紹介します。選手が日本代表の誇りを持ち最後まで諦めなかったことに学び「南校生としての誇りを持つこと」、選手がお互いを尊敬しあいチームワークを築いたことに学び「チーム今南を合言葉に、お互いをリスペクトすること」、最優秀選手の大谷翔平選手に学び「目標を持ち、達成に向けて努力すること」の三つをお願いしました。逞しく、団結力のある学校を目指します。

諦めない、自分の限界に挑戦

常任理事 越智 将人 (南28回卒)



昭和五十二年の卒業です。現在は今治市で庭師として、造園会社代表取締役として働いています。実家は農業を営んでいましたが、中学生の頃に造園会社でアルバイトをする機会があり、とても大きな魅力を感じ、庭師の道を目指しました。造園業は樹木の生産・樹木の販売・公共工事・樹木の剪定作業等、広範囲に及びます。私は、主に個人邸宅の庭造りに携わっています。

私自身が施主の方の庭に対する想いを聞き取り、その庭に何が一番必要かを考えて庭空間を創ります。その中で、家に庭があることで、本当に心から豊かな生活が出来るという事を表現、そして提案しています。また、私は自分で庭の設計を

し、施工まで、全て自社で行っています。全てを自社で行うという事は、勿論大変な事もありますが、庭を創る過程の全てを自分でも楽しみ、日々やり甲斐を感じています。

昔は造園業に従事する方の多くが、京都等の造園会社等で修業をしていました。私は独学で起業した為、自然の景色から庭創りを学びました。そして、試行錯誤しながらも努力を継続したことで、版築工法の土塀や色合いの違う御影石で積む創和積や割り戻しの技法で作る灯り、また三和土等の土を使った色々な工法などを独自に編み出しました。

これからの現状に慢心せず、自分で現代の庭創りに合う様に工夫し続け、技術の向上に努めて行きたいと考えています。また、今は独自の庭を創るとともに、愛媛県造園技能士会の会長と日本造園連合会の講師を兼任しています。日本全国で技術講習を行いながら、2019年には、国土交通省の「海外日本庭園再生プ

ロジェクト」で、アメリカのシカゴ市にあるジャンクソンパーク庭園の改修工事にも携わる事も出来ました。また、2021年には愛媛県で庭師としては初めて厚生労働省から「現代の名工」に表彰していただきました。これらは、私に庭を創らせてくださった方々のおかげです。庭を創る中で出会った全ての人々や物事のおかげで今があると思っています。とても有り難い事で、全てのご縁に感謝しています。

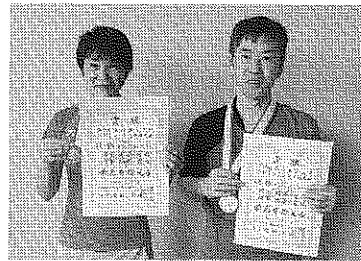
最後にになりましたが、私の座右の銘は、「諦めない自分の限界に挑戦」です。百の考えよりも一つの実行です。やるか、やらないかで人生は変わります。一つの試みを実行に移すことで、次が見えてきます。考えているだけでは何も変わりません。失敗した時のリスクを恐れず前進してください。諦めないで自分の限界に挑戦していきましょう。

自分の一度きりの人生を、共に精一杯楽しみましょう。



バドミントンを続けてきて

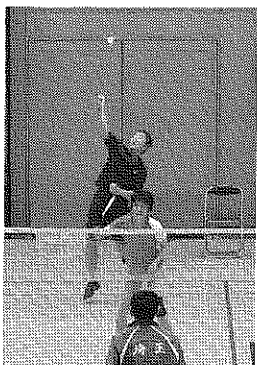
日下 拓郎 (南36回卒)
日下 光子 (南36回卒)



バドミントン競技は、県外のように小学校、中学校から始められる環境ではなく、高校から始める選手がほとんどでした。四国大会や全国大会に愛媛県代表として出場しても、到底かなうはずありませんでした。

そんな時代から40年、競技を続けてきたことでその差が縮まったのか、今回の結果に繋げることができました。継続だけでは無く、コロナ禍で他県、他市は体育館が使用できない中、今治市では使用できたこと、たくさんさんの練習仲間がいてくれたこと、関係の方々には感謝しかありません。

「継続は力なり」という言葉があります。ただ好きで続けてきただけですが、何かを得ることができ



か一つ好きなものに出会ったとき、それが他人に迷惑をかけるものなら、周りにどう言われようが、どう思われようが続けることで何かを得ることが出来るかもしれません。

今後も今治南高校バドミントン部の活躍を応援しながら、愛媛県や今治市のバドミントン界に貢献していきたいと思っています。

祝おめでとう

2023年春の叙勲賞

旭日小綾章

大沢 一彦氏 (南10回卒)

日本食研ホールディングス 会長

瑞宝小綾章

曾我部 卓三氏 (南13回卒)

新居浜工業高等専門学校 名誉教授

藍綬褒章

檜垣 巧氏 (南19回卒)

日本中小型造船工業会元 副会長

感謝の気持ち

生徒会長

「逆境は成功への第一歩」

三年一組 酒井 寛次
私たちの青春は常にコロナと共にありました。普段の学校生活、部活動、運動会や文化祭といった学校行事全てに制限がかけられ、我慢ばかり強いられる日々が続きました。

そんな中、今年の五月にコロナが第五類感染症に移行されました。マスクの着用は個人の判断に委ねられ、ようやく今までの当たり前だった日々が戻りつつあります。今年度の四月には集団宿泊研修や遠足などの学校行事も開催され、コロナ前の活気が少しずつ戻ってきています。

コロナ禍の経験は私たちに「行動することの大切さ」を気づかせてくれたと思います。自ら行動を起こすことができなくても「コロナだからしょうがない」と言い訳ができるようになってしまいました。しかし、本当に大切なのは今だからこそできることを見出し、行動することではないでしょうか。コロナで失った青春を取り戻すためにも立ち止まっている暇はありません。今、自分にできることを考えて積極的に行動し、一日一日を大切に生きていきたいと思います。

ポーター部

「感謝を込めて」

三年四組 宮崎のどか
私は入部間もない頃から多く

の大会に参加させてもらい、入賞を果たしてきました。

しかし、先輩たちと挑んだ四国選抜予選で一位を取ってからは、私達は一から遠ざかっていった。そんな中、私達の最後の総体である県総体を迎えた。正直、誰も厳しい戦いだと思っていた。けれども、私達は決勝後、玉川ダムでガッツポーズをし、喜びの声を叫んでいた。伝統ある今治南高校ポーター部で女子舵手付きクオドルプル県総体初優勝という快挙を成し遂げることができた。試合後、周りを見ると、保護者、仲間、OBの方々が私達に手を振ってくれていた。沢山の人が応援されて支えられていることを実感した。日頃から艇庫周りを整備してくださるOBの方々をはじめ、保護者や仲間にもいつも私達は支えられていた。どんな時でも支え合ってきた仲間や周りの人がいたからこそ、かなえることができた結果だと思ふ。

インターハイでは、伝統ある今治南高校ポーター部という誇りと自覚を持ち、恩返しできるように、周囲の人への感謝の気持ちを忘れず、メダルを目指して最後まで戦い抜きたい。

悔しさをバネにして
三年四組 長野輝也
私が今治南高校に入学したとき、卓球部は男女ともに団体戦で四国大会に出場しました。団体メンバーを決める部内戦に一年生ながらに参加させていた

いた私でしたが、先輩方から勝ち星を挙げることができず、団体メンバーに選ばれることはありませんでした。先輩方の四国大会出場に対する嬉しい気持ちと、先輩方と四国大会の舞台に立ちたかったという悔しい気持ちが混ざり合い、とても複雑な気持ちになりました。

新チームになり、心機一転練習に励みました。自分の課題を明確にし、一つ一つの課題を克服しながら、チームの仲間と一緒に切磋琢磨しました。そして迎えた、高校生活最後の県総体。団体戦では四国大会出場決定戦で敗れてしまいましたが、ダブルスでは東予予選で完結した相手フルゲームの末に下し、目標にしていた四国大会出場を決めました。

嬉しい気持ちが込み上げるとともに、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちもより一層強くなりました。二年前に立てなかつた四国大会の舞台で少し緊張しますが、高校生活最後の公式戦を存分に楽しみたいと思います。そしてまずは初戦突破を目標に、全力を尽くしていきます。

吹奏楽部
「努力と感謝」
三年二組 二神夢理奈
新年度を迎え、新型コロナウイルス感染症流行以前のようにさまざまな制限がなくなりつつあります。おかげで、私たち吹奏楽部も多くの方々に演奏を聴いていただける機会が増え、と

ても嬉しく思います。
昨年の8月、私たちは、全国高等学校総合文化祭東京大会にマーチングバンド・バトントワリング部門とパレードに出場させていただきました。パレードは、丸の内のおフィスビルがたくさん立ち並ぶ石畳の通りで行われました。前日の大移動、都会の異常な暑さなど、いつもと違う環境で疲れてはいましたが、いつも以上に明るく楽しんでパレードすることができました。パレード後に、「愛媛の歌」を聴いて慌ててパレードを観に来てくださった愛媛県出身の方に声をかけていただき、とても励みになりました。マーチングは、21人という少数の私たちがとって大変圧倒される広さの会場で行われ、緊張と不安に押しつぶされそうでした。しかし、演奏もドリルもメリハリを大切にすること、全国の舞台を楽しむことを目標に、最後まで演技することができました。

この経験を通して、同じ目標に向かつて努力することの大切さや協調性を学ぶことができました。また、当たり前に思っていたことがそうではないということを経験し、感謝の気持ちを持ち、日々の部活動に取り組む中でいろいろな思いが生まれました。

・空手道部
【令和4年度第42回全国高等学校空手道選抜大会四国地区予選】
女子個人組手 山岡 準優勝
男子個人組手 御堂 出場
男子団体組手 御堂 準優勝
御堂・村上・三宅 準優勝

・吹奏楽部
【第35回全日本マーチングコンテスト四国支部大会】

部活動報告

令和四年七月～五年三月

四国大会

全国大会

高等学校以上の部
長野含む20名 銅賞

ポーター部
【第77回国民体育大会第43回四国ブロック大会】
少年女子舵手付きクオドルプル 村上 優勝
少年女子ダブルスカル 大久保 優勝

【令和4年度第34回愛媛県高等学校新人大会兼全国大会四国予選】
女子舵手付きクオドルプル 越智含む5名 準優勝
女子ダブルスカル 秦・貴田 準優勝
矢部・木山 出場

女子ダブルスカル 勝本 準決勝進出
男子ダブルスカル 佐伯・安部 5位
宮道・門田 出場
男子シングルスカル 川上 準決勝進出
高祖 出場
阿部 準決勝進出

・美術部
【第23回高校生国際美術展】
美術部門 森岡 奨励賞
【第31回全国高等学校漫画選手権大会】
出品

・放送部
【第69回NHK杯全国高校放送コンテスト】
朗読部門 越智 準々決勝進出
【第46回全国高等学校総合文化祭東京大会】
朗読部門 越智 優秀賞

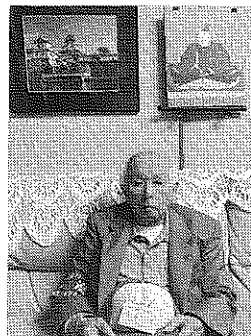


高等部、吹奏楽部、ポーター部、空手道部、美術部、放送部のメンバーが集合写真を撮っています。

恩師をたずねて No.4

越智 齋さん (南2回卒)

(在職期間S35年4月〜
48年3月社会科)



今治市辻堂にお住いの越智先生は、本校を卒業後、愛媛大学に進み地理学を専攻。高校教員になって本校・丹原高校・今治北高校に勤務しました。北高では「地理」の愛称で生徒から慕われていた越智先生。退職後は、地域の織物業史の編さんに携わったり、県内でも指折りに詳細大部な『今治郷土史』の編さんにかかわったりしました。今治城の館長を長く務められた後、コロナ禍前まで、今治城の観光ボランティアとして長年ご活躍だったそうです。今治の地理・歴史を紐解くエキスポートとして今治を紹介してくれていたのです。卒寿を超えた現在は、奥様と穏やかに過ごしてました。今治城を訪れた観光客・訪問者の前で熱弁をふるった、こよなくお好きな藤堂高虎の画像を背に、久しぶりに観光ボランティアガイドのブレザー姿で一枚撮らせてもらいました。

令和4年度 越南会会計 決算報告

(単位：円)

収入総額	6,133,872	支出総額	2,720,703	差引残額	3,413,169
------	-----------	------	-----------	------	-----------

(次年度へ繰越)

収入

科目	予算額	決算額	差引残額	備考
前年度繰越金	3,293,850	3,293,850	0	令和3年度より繰越
入会金	1,880,000	1,760,000	△120,000	令和4年度卒業生176名×10,000円
維持会費	1,000,000	480,000	△520,000	
雑収入	1,150	600,022	598,872	普通預金利息 名簿還元金600,000円
合計	6,175,000	6,133,872	△41,128	

支出

科目	予算額	決算額	差引残額	備考
入会記念品費	260,000	243,382	16,618	令和4年度卒業生入会記念品(卒業証書用ファイル、図書カード)
通信費	400,000	279,929	120,071	総会等各会の案内
事務費	50,000	7,602	42,398	事務用品、消耗品
印刷費	200,000	45,731	154,269	各会案内状、会報印刷
人件費	720,000	720,000	0	
旅費	300,000	0	300,000	支部への旅費
母校後援費	1,500,000	536,701	963,299	全国・四国大会出場部へ補助
支部育成費	200,000	200,000	0	関東・関西支部へ
慶弔費	150,000	85,424	64,576	慶弔、異動教職員饗別等
雑費	150,000	101,934	48,066	高校野球新聞広告掲載料、会議用諸経費
周年事業積立金	500,000	500,000	0	平成28年度より積立
予備費	1,745,000	0	1,745,000	
合計	6,175,000	2,720,703	3,454,297	

☆ 周年事業積立金

周年事業積立金	3,500,086
---------	-----------

編集後記

越南会だより第6号をお届けいたします。気持ち新たに始動のときです。発行にあたり、執筆等多くの皆様に御協力をいただきました。お礼を申し上げます。

越南会だより編集委員
 新居田昌彦(南28回卒)
 西村 裕佳(南37回卒)
 吉村 尚子(南38回卒)
 菅 康夫(南38回卒)

令和7年 創立百周年を迎えます

百年の歴史を辿る

【時計台は三代目】
 初代校長は村越銃之輔先生。村越先生は、札幌農学校(現北海道大学)の卒業であり、クラーク博士の「Boys Be Ambitious」(少年よ、大志を抱け)の精神を本校の生徒にも受け継いでほしいとの思いから本館に時計台を設置しました。

現在の時計台は三代目で、変わらず私たちを見守り確かな時を刻んでくれます。